

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	世界史 I
科目基礎情報						
科目番号	0162		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年	2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	『世界史B 新訂版』（実教出版）					
担当教員	牧野 雅司					
到達目標						
1 近現代史の展開についての理解を深める。 2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。 3 歴史的な思考を錬磨する。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。 7 現代科学の考え方や科学技術の特質が社会や自然環境に与える影響について理解できる。 8 国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	近現代史の展開について十分に理解できる。		近現代史の展開について理解できる。		近現代史の展開について理解できない。	
評価項目2	世界史全般についての基礎的な理解を十分に深められる。		世界史全般についての基礎的な理解を深められる。		世界史全般についての基礎的な理解を深められない。	
評価項目3	歴史的な思考を十分に錬磨できる。		歴史的な思考を錬磨できる。		歴史的な思考を錬磨できない。	
評価項目4	産業活動などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について十分に理解できる。		産業活動などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。		産業活動などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できない。	
評価項目5	国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から十分に理解できる。		国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。		国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できない。	
評価項目6	文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを十分に理解できる。		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できない。	
評価項目7	現代科学の考え方や科学技術の特質が社会や自然環境に与える影響について十分に理解できる。		現代科学の考え方や科学技術の特質が社会や自然環境に与える影響について理解できる。		現代科学の考え方や科学技術の特質が社会や自然環境に与える影響について理解できない。	
評価項目8	国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて十分に理解できる。		国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。		国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)						
教育方法等						
概要	現代の世界の基礎を作った近現代の世界史について、18世紀以降の世界の動きを概観することにより、基礎的な知識を獲得し、歴史的な考察能力を高める。					
授業の進め方・方法	授業は講義形式で行う。					
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 成績評価は、中間および期末試験の結果により評価する（100％）。到達目標の習得度を評価基準とする。 【備考】 板書を写すだけでなく、授業の内容をよく聞き、適宜メモをとること。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-309) 内線電話 8903 e-mail: m.makino@maizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること。）					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, 世界史を学ぶにあたって		1 近現代史の展開についての理解を深める。 2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。	
		2週	環大西洋革命とバクス=ブリタニカ（1）		2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	

		3週	環大西洋革命とパクス＝ブリタニカ（２）	2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		4週	環大西洋革命とパクス＝ブリタニカ（３）	2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		5週	近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家（１）	2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		6週	近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家（２）	2 世界史全般についての基礎的な理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		7週	まとめと復習	3 歴史的な思考を錬磨する。
		8週	前期中間試験	
	2ndQ	9週	前期中間試験問題の解答と解説	3 歴史的な思考を錬磨する。
		10週	ヨーロッパの帝国主義（１）	1 近現代史の展開についての理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		11週	ヨーロッパの帝国主義（２）	1 近現代史の展開についての理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		12週	西アジアの改革運動	1 近現代史の展開についての理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		13週	アフリカの分割と抵抗	1 近現代史の展開についての理解を深める。 4 産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的な相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。

		14週	インド・東南アジアの植民地化と民族運動	1 近現代史の展開についての理解を深める。 4 産業活動（農牧業，水産業，鉱工業，商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性，産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 5 国家間や国家内で見られる，いわゆる民族問題など，文化的な相違に起因する諸問題について，地理的または歴史的観点から理解できる。 6 文化の多様性を認識し，互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。
		15週	まとめと復習	3 歴史的な思考を錬磨する。
		16週	前期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	